

自然を楽しみ、自然のために。

はじめてみよう 休日ボランティア



海外の自然保護やボランティア活動の最前線を研究する講師陣が、イギリスを例に「自然を楽しみながら、自然のために行動する」活動の魅力に迫ります。会場は、年間のべ約3000人のボランティアが活躍する「ボランティアの学校」、横浜自然観察の森。トークの間には、新緑の森にふれあう時間も。後半は北海道の日本野鳥の会レンジャーが、グリーン・ホリデーの活動場所やプログラムについて詳しくお話しします。グリーン・ホリデーに興味がある、参加してみたいけれど詳細を知りたい、という方は是非ご参加ください。

日時: 2009年4月19日(日) 13:00~16:30
 講師: 親泊素子
 [講師プロフィール] 江戸川大学教授。環境政治学を専門とし、世界各地の国立公園制度について研究、アジア諸国の保護地域支援活動にもかかわる。著書「日本の国立公園の政治学」(英文)など
 ゲストスピーカー: 出江俊夫(環境省総合環境政策局 環境教育推進室長)ほか
 会場: 上郷・森の家・森のホール/横浜自然観察の森(横浜市区)
 受付: 上郷・森の家・森のホールにて 12:30~
 交通案内: 京浜急行金沢八景駅、またはJR大船駅からバス バス停「森の家前」下車徒歩7分。
 参加費: 無料 定員: 200名
 主催: (財)日本野鳥の会 後援: (財)横浜市緑の協会
 お申し込み: お電話またはグリーン・ホリデー申し込みフォームをご使用ください。



グリーン・ホリデー申し込みフォーム (太枠内は必ずご記入ください)

フォームにご記入の上、(財)日本野鳥の会普及室まで郵送またはFAXでお送りください。

●ホームページからお申し込みできます <http://www.wbsj.org>

グリーン・ホリデー2009お申込者には、受付完了次第、プログラム詳細と参加費お支払いのご案内をお送りします。

以下に記載する個人情報を、手続き代行のために必要な範囲内で、旅行代理店・宿泊・運送機関その他第三者に提供されることを同意の上申し込みます。

フリガナ						
氏名	男・女	生年月日	西暦	年	月	日
フリガナ						
保護者氏名 (A2参加者のみ)	男・女	生年月日	西暦	年	月	日 (続柄)
フリガナ	連絡先(電話・FAX・Eメールアドレス)					
住所	①電話 () -					
	②FAX () -					
	③Eメールアドレス					

参加を申し込まれるプログラムに○をつけてください(複数可)

① 講演&トークセッション はじめてみよう休日ボランティア ()

② グリーン・ホリデー2009

- A1 タンチョウのすむ「湿原」を守ろう ()
- A2 シマフクロウのすむ「森林」を守ろう () ★親子対象
- A3 シマフクロウのすむ「森林」を守ろう ()
- B1 タンチョウの食事場所を整えよう ()

グリーン・ホリデー2009にお申し込みの方は、ご記入ください

緊急連絡先	氏名	(続柄)
	住所	
	電話番号 () -	携帯電話

お申込み・お問い合わせ: (財)日本野鳥の会 普及室(岡本、掛下)
 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
 TEL:03-5436-2622 FAX:03-5436-2635
 Eメール:nature@wbsj.org

Green Holiday

グリーン・ホリデー

北海道の雄大な自然と、野生の生きものたちに囲まれて、休日をご過ごししてみませんか?



Escape the Daily Routine and Get Back to Nature!!



グリーン・ホリデーとは……

自然を楽しみ、自然のために。
あなたが選ぶ、グリーンな休日



「最近自然にふれる機会が少ないな……」
「週末は日常と違う体験をしてみたい！」
という方に、自然を満喫し、
野生の生きものとの出会いを楽しみながら、
自然のためにチョットだけ力を貸していただく、
グリーンな（自然にやさしい）休日をご提案します。

だれでもできる、ボランティア・ホリデー

グリーン・ホリデーは、だれでも、気軽に、自然を楽しみながら自然を守る活動に参加していただく、ボランティア・プログラムです。特別な技術や資格、専門知識は必要ありません。高校生以上であれば、どなたでもご参加になれます。小・中学生は親子で参加するプログラムがあります。

本当の自然に出会う・感じる・みつける3日間

2泊3日のあいだ、日本野鳥の会の野鳥保護区（北海道・根室市、釧路市）で、絶滅の危機に瀕するタンチョウやシマフクロウのすみかを守る活動に取り組みます。

仲間ができる・つながる・輪が広がる

活動は10名程度のグループで行います。全国から集まった新しい仲間と友達になれるチャンスです。人と人、人と生きものをつなぐグリーン・ホリデーに参加して、自然を守る輪と一緒に広がっていきませんか。

◆野鳥保護区とは◆日本野鳥の会では、皆様の寄付などにより希少な野鳥の生息地を購入し、「野鳥保護区」として恒久的に守っています。その面積は北海道東部を中心に約2600haにのぼり、民間の保護区としては国内最大です。野鳥保護区の素晴らしい環境を維持していくために、皆様のチカラを貸してください！



いろいろな鳥や自然とかかわれたことがたのしかった。いちばん心に残ったのは、木登りとタンチョウのヒナを見られたこと。（神奈川県・11歳）

自分自身が自然にふれる体験が数年ぶりだったので、楽しい時間を過ごせたと同時に、生きものとの共生の大切さを考える良いきっかけになりました。（東京都・女性）

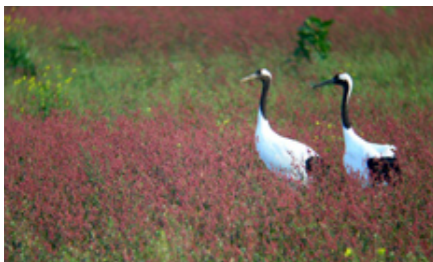
参加者の声

2009年度ボランティア・プログラム

※活動内容は、変更されることがあります。

① タンチョウのすみ「湿原」を守ろう

【日程】2009年5月2日（土）～4日（月・祝）
【集合】5月2日 14:45 JR厚床駅
【解散】5月4日 11:30 JR厚床駅
【活動内容】野鳥保護区にやってくるタンチョウやオジロワシの行動を調査するほか、湿地から土砂が流れ出すのを防ぐために植樹をします。



② シマフクロウのすみ「森林」を守ろう

【日程】2009年7月18日（土）～20日（月・祝）
【集合】7月18日 10:40 釧路空港
【解散】7月20日 13:00 中標津空港
【活動内容】森林開発などで減ってしまったシマフクロウのために植樹をします。また、木のうろを使うモモンガ、リス、コウモリ、小鳥などのために巣箱を作って設置します。



③ シマフクロウのすみ「森林」を守ろう

【日程】2009年9月19日（土）～21日（月・祝）
【集合】9月19日 14:45 JR厚床駅
【解散】9月21日 11:30 JR厚床駅
【活動内容】シマフクロウをはじめ、いろいろな生きものが暮らしている森づくり（間伐）や、シマフクロウの食べ物である魚の調査を行います。



写真：山本純郎

A グリーン・ホリデー in 根室

活動場所 根室市内の野鳥保護区

どんなところ？ 北海道の東端、湿原や森林など豊かな自然が残っている根室半島には、タンチョウやシマフクロウのすみかを守るために野鳥保護区が数多く設置されています。ここでは、オオワシやオジロワシなどの大型鳥類のほか、ヒグマやエゾシカ、エゾモモンガ、エゾリスなど様々な動物が暮らしています。

宿泊場所 根室市別当賀夢原館

親子でご参加ください

B グリーン・ホリデー in 釧路

活動場所 鶴居村と釧路湿原周辺の野鳥保護区

どんなところ？ 釧路市街の北に広がる釧路湿原は、約1万8000haの広さを誇る日本最大の湿原です。1967年に天然記念物に指定され、1980年には日本で最初のラムサール条約（国際湿原保護条約）の指定地になりました。ここでは、タンチョウはもちろんのこと、幻の魚イトウや、氷河時代の生き残りといわれているキタサンショウウオなど、他の場所では見られない貴重な生きものがすんでいます。

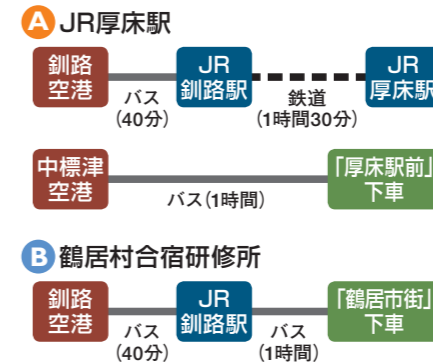
宿泊場所 鶴居村合宿研修所

① タンチョウの食事場所を整えよう

【日程】2009年8月21日（金）～23日（日）
【集合】8月21日 15:00 鶴居村合宿研修所
【解散】8月23日 13:00 鶴居村合宿研修所
【活動内容】タンチョウが冬の間に自然の中で食べ物を採れる場所を整備します。また、巣づくりができるように管理した場所を調査します。



集合場所までのアクセス



◆お申込み者には、便利な航空便、電車・バスの時刻表を含めた詳しい交通案内をお送りします。

阪急交通社が航空券手配を代行いたします。
お気軽にお問い合わせください。
（株）阪急交通社 TEL: 03-6745-7370

* プログラムの流れ *

- 1日目 午後、現地または最寄駅に集合（A2のみ、空港集合）
↓
宿泊施設へ移動、オリエンテーション
- 2日目 自然とふれあう体験&
自然をまもる活動
- 3日目 活動のまとめ、昼前後に解散

宿泊

簡易宿泊施設を利用します。食事は、ケータリングが中心ですが、一部自炊となる場合があります。

対象（定員）

高校生以上の一般（定員10名）
（A2のみ、小学生以上の子どもと保護者、定員10組20名）
先着順に受付、定員に達し次第締め切ります。

参加費

10,000円（A2のみ、親子一組30,000円）

参加費に含まれるもの

プログラム中の移動交通費、食費、宿泊費、教材費

お申し込み

裏面をご覧ください

